

令和2年度進捗状況に対する委員意見に関わる今後の町対応について

No	事業番号	基本目標 基本施策	事業名	意見	今後の町対応(案)	担当課
1	24	2-1-③	水分もうひとしぼりの運動の推進	①生ゴミの処理費の総額を明示し、水分の比率を下げることで効果を提示して、町民の意識を高める。②その具体例を明示しての実行の手助けをする。③ゴミ袋の単価を上げて意識改革をする。	①資源回収物売払収入やごみ処理費用など周知することで、リサイクルやごみ処理費用の削減などの啓発を図っていきます。 ②通いの場や子育てサロンといったコミュニティ、あるいはYouTubeなどを活用することで具体例を挙げながら啓発をしていきます。 ③現状の計画値・実績値の乖離は、町民の皆さんのちょっとした工夫でクリアできる数値と捉えています。そのため、できるだけ負担感なく、共感を得ながら減量化を推進していく段階と考えておりますが、今後の推移によっては、価格改定も視野にごみの減量策を検討していきます。	生活環境課
2	26	2-1-⑤	ごみ減量化推進協議会による減量化の推進	会議の開催方法をネットを通じたりモート会議にしてみたいかでしょうか。	今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況にもよりますが、委員のご都合に応じて、ハイブリッド方式での開催としていきます。	生活環境課
3	27	2-2-①	リユースショップの利用促進	実行あるのみ。同じ主旨の既存ショップの事業のフォローまたは協業の可能性を検討してみたいかでしょうか。	官民連携によるごみの削減となるよう、検討していきます。	生活環境課
4	29	2-2-③	生ごみ処理機の導入促進	・キエーロは啓発動画などでより一層PRしていくと良いと思います。 ・環境学習の際にキエーロの話をするなど、町と学校が連携できると良いと思います。	キエーロの普及促進を図るため、より効率的かつ効果的な啓発ができるよう検討していきます。	生活環境課
5	39	3-1-(2)-①	地球温暖化防止運動の推進	今後も対面での啓発活動に制限がかかる可能性を考え、数値指標としている「マイエコ10宣言」の「トライする項目」「実行している項目」を町のホームページ上でも回答できるようにした方がよいのではないかと。Facebook等での呼びかけとあわせて、新たな普及啓発の具体的な方法を早急に考える必要があると思う。	神奈川県が実施するマイエコ10宣言について、本事業の指標としているが、新型コロナウイルスの影響によるイベント中止が続いているため、他指標について検討していきます。	生活環境課
6	39	3-1(2)-①	地球温暖化防止運動の推進	神奈川県版を参考に「やってみよう！マイエコ10宣言」を二宮町の子供バージョンとして新たに作成したのはとてもよかった。また、すべての小中学校で実施し、その結果をわかりやすく集計し、結果をしっかりとフィードバックしたことも素晴らしい。大変だとは思いますが、今後も「低炭素社会の実現に向けて」ぜひとも継続していただきたい。	未来を担う子どもたちへの環境教育は大変重要であると捉えているため、今後も学校と連携しながら、継続的に実施していきます。	生活環境課

7	40	3-1(2)-②	ムダな電力消費等の節約啓発	チラシの配布は決して悪くはないが、児童生徒を対象とした「資料を配って終わり」といったやり方では、「ムダな電力消費等の節約啓発」までには到達できないと思われる。	チラシの配布はあくまでも行動転換のきっかけづくりであり、家庭内での話題となるようなチラシ内容としており、また、配布のタイミングに合わせて、ホームページやSNSを更新することで、今後も幅広く周知をしていきます。	生活環境課
8	41	3-1(2)-③	エコカーの導入(電気自動車等導入検討)事業	エコカーに「二宮町」をしっかりと書き、目立つようにすることが大切だと思う。町内でエコカーを目にすることにより、二宮町が「低炭素社会の実現」に向けて真剣に取り組んでいることが町民にアピールできると思う。	町として低炭素社会の実現に向けて取り組んでいることを、しっかりと町民等に周知できるよう、手法等を検討し、実施していきます。	財務課
9	42	3-1-(2)-④	環境負荷の少ない交通の利用促進	抜本的な見直しや対策が必要なのではないかと感じる。利用状況を見る限り、運行による二酸化炭素の削減には結びついていないように思う。茅ヶ崎市のえぼし号のようにとは言わないが、温暖化対策も含めるのであれば、もう少しきめ細かなダイヤ設定を検討した方がよいのではないかと。	コミュニティバス運行の主目的は、交通空白地域の解消による生活の足の確保です。そのため、コミュニティバスのみならず、さまざまな公共交通の利用促進にかかる啓発とともに、既存路線バスを維持することも念頭にコミュニティバスの運行を計画する必要があります。	企画政策課
10	43	3-1(2)-⑤	駅前駐輪場の運営(利用者の利便性向上)	一般的な自転車だけではなく、子ども用座席付き自転車や三輪車の自転車等様々な自転車も気軽に駐輪できるように駐輪場の実現を目指す必要があると思う。	子ども用座席付き自転車や電動機自転車については、利用者が増傾向であることから、平置き場(駐車器具を使用しない場所)を増やすことで対応しているところです。三輪自転車等の二輪以外の自転車については、今後の利用要望者数の動向と駅周辺の民間駐輪場の受入状況等を確認しつつ必要性を検討していきます。	防災安全課
11	44	3-1(2)-⑥	地球温暖化防止に関する教育	新型コロナウイルス感染拡大防止のため出前授業は実施できなかったことだが、学習指導要領に則したものになっているのか。また、子どもが興味感心をもって学べる構成になっているのかをしっかりと考える必要があると思う。	出前講座は、学校側からの依頼により実施するものなので、学習指導要領に沿った形の希望を聴取しながら実施していきます。また、興味・関心という部分につきましては、できるだけ配慮して実施していきます。	生活環境課
12	44	3-1-(2)-⑥	地球温暖化防止に関する教育	幼少期からの環境教育はもちろん大事である。それを、子どもから大人へどう繋げていくか(子どもたちが学んだことを家庭や地域でどう活かすか)が今後の課題になってくると思う。学校等、教育現場での児童・生徒対象の環境教育と地域住民向けの環境講座を切り離すことなく、融合させながら啓発を行うにはどうしたらよいか、方策等を検討する必要があると考える。	現在、次世代を担う子どもたちへの啓発についても力を注いでおり、子どもから大人への逆の広報という構図を生むことで、様々な角度から啓発し合う環境をつくっていくとともに、学校や地域などとも連携した啓発ができるよう検討していきます。	生活環境課

13	45	3-3-①	建築物の緑化の推進	グリーンカーテンは本校でも委員会活動として実施している。町内の各学校の取り組み、あるいは町内でグリーンカーテンに熱心に取り組んでいる家庭等を町のHPや公報で取り上げることにより普及促進につながるのではないかな。	以前に、一般家庭を対象としたグリーンカーテンコンテストを実施し、HP上には掲載しています。今後さまざまな事例を広報媒体で取り上げ、周知を実施していきます。	生活環境課
14	47	3-3-③	花いっぱい運動の推進	本校でも毎年実施しているが、学校作業員さんと保護者有志で行っている。生徒たちが地域の方々と共に実施することにより地域とのつながりが図れると思う。さらに、高齢化等により作業の実現が困難な地区や団体への支援も可能になると思う。	持続可能な花植えを展開していけるよう、地域と学校との連携策、あるいはその他方策についても検討していきます。	都市整備課 教育総務課
15	51	3-5-①	地域美化活動の推進	地域美化活動を無理なく持続できる方法として、子どもたちがゴミ拾いをしながら登下校をするのはできるのではないかな。町内のあらゆるところでこのことができれば、地域が奇麗になること間違いなしだと思います。地域の事業所や周辺自治体と連携するとさらに良い活動として発展すると考える。	ご提案の学校連携を含め、他自治体の事例も参考にしながら、地域美化清掃のあり方について検討していきます。	生活環境課
16	53	3-5-③	屋外燃焼行為による被害の防止	大磯警察と連携し、違反者に対してしっかりと指導する。また、地域で屋外燃焼行為を見かけたら直ちに110番を行うように町の広報誌やHPでの周知を図る。罰則の条例化も検討する必要がある。また、他市町村の取り組みを参考にするのも良いのではないかな。	当町においては県条例のもとに、適切な対応を実施しています。引き続き警察や消防などと連携するとともに、広報紙やホームページ、回覧などを活用して周知を図っていきます。	生活環境課
17	-	-	-	ごみの減量化や地球温暖化防止に関するだけでなく、公共交通機関の利用に関わる啓発も同等に扱っていただきたいと思います。	今後も公共交通機関の利用促進にかかわる啓発を実施していきます。	企画政策課
18	-	-	-	・今後も引き続きコロナウイルスの影響を受けると思いますので、数値目標としては、参加人数がわかりやすいのですが、違う形で評価できるように見直すことも必要かもしれません。 ・数値目標としては、参加人数がわかりやすいのですが、引き続き新型コロナウイルスの影響が懸念されるので、違う形で評価できるように見直すことも検討していく必要があると思います。 ・ごみの施策であれば、イベントの来場者数ではなく、減量したごみの量で評価する方が良いと思います。	事業によっては、代替え措置を実施してきましたが、代替えできなかったものについては、計画推進に繋がるよう、各担当課と検討していきます。	生活環境課

19	-	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等に支障が出ていて、評価がDやEとされています（コロナの影響ありと付記されています）が、他の市町においても、このような場合には、「評価なし」あるいは「-」などとしていますので、そのようにした方が良いように感じました。	今回お配りした資料は、実態に応じた形で表記させていただきますが、ご指摘の通り、公表する際には「-」の表記とさせていただきます。	生活環境課
20	-	-	-	竹林整備のためにも、チップパーが導入されると良いと思います。	維持管理面や財政面、あるいは利用者の安全等を勘案すると、町で直ちに導入することは困難です。しかしながら、山林整備やごみの減量化に寄与するものであるため、他機関・団体との連携を含め、方策について検討していきます。	生活環境課
21	-	-	-	町のホームページを刷新したことは、良い啓発であったと考えられるので、引き続き継続していくことが望ましいです。	現在若者向けの啓発として、動画での啓発なども考えています。引き続き町民の方が興味をもっていただけるようなホームページを意識しながら、作成に努めていきます。	生活環境課
22	-	-	-	パワースhiftというキャンペーンがあるのですが、アクセスすると電力切り替えの方法や、どのような契約方法があるかなどが掲載されているため、このように、啓発から行動に繋げていけるようなホームページを作成することが重要だと思います。	神奈川県で実施している電気の共同購入や、ソーラーパネルの初期費用0円設置事業などについて、町のホームページから神奈川県のホームページにリンクするようになり、また、引き続き広報紙でも定期的に周知を実施していきます。	生活環境課
23	-	-	-	インターネットにアクセスできない方もいらっしゃるので、情報の取得に格差が出ないように配慮してください。	引き続き、広報紙やイベント時などにおける対面での啓発についても実施していきます。	生活環境課
24	-	-	-	町のホームページに二宮町環境団体の紹介ページがあるため、団体同士の横の繋がりを促進すると良いと思います。	環境団体の連携につきましては、エコフェスタにのみや等を活用しながら、より横の繋がりをつくれるようアシストして行きます。	生活環境課
25	-	-	-	実際に町の環境イベントなどに参加することで、環境問題を自分事として捉えることができると思います。また、イベントなどに参加することで、ホームページを調べるきっかけにもなると思います。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、対面での啓発ができるよう事業を進めていくとともに、環境問題を自分事として捉えてもらえるよう、引き続き積極的に啓発を重ねていきます。	生活環境課
26	-	-	-	町のホームページの2つの環境バナーが、スマートフォンで開くと1つしか表示されないため、改善すると良いと思います。	スマートフォンで開いた際にもわかりやすくなるよう、改善を進めていきます。	生活環境課
27	-	-	-	ブラジルのバス専用レーンの設置や、他の市町村のように、街中の様々な場所に電動自転車を設置するなど、町全体で仕組みを変えていく必要があると思います。	他自治体を参考にしながら、この町にあった環境施策を展開できるよう検討していきます。	-
28	-	-	-	毎年同じ事業計画は、見直すべきだと思います。	事業の性格上、同じ計画となってしまう事業もある中で、見直しができる事業については引き続き改善をしていきます。	-